

「地域ヘルスケア産業支援ファンド」の組合出資募集完了について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)は、機構のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社を通じ、株式会社 AGS コンサルティングと共同で運営している「地域ヘルスケア産業支援ファンド」(名称:地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」という。)について、組合出資の募集を完了いたしましたので、お知らせいたします。

本ファンドは平成 26 年9月1日に、株式会社みずほ銀行、株式会社常陽銀行、株式会社千葉銀行、株式会社横浜銀行、株式会社福岡銀行、株式会社西日本シティ銀行、横浜キャピタル株式会社を有限責任組合員として設立されました。平成 26 年 10 月3日には株式会社 YOU および株式会社楓の風への投資を決定、また平成 26 年 11 月 21 日にはケアプロ株式会社への投資を決定するなど、地域包括ケアシステムの成立、民間サービスを含めた健康寿命延伸産業の拡大等に向け、ヘルスケア産業を対象とした個々の企業の投資育成を行っています。

今般、新たに株式会社北海道銀行、株式会社秋田銀行、株式会社北都銀行、株式会社東北銀行、株式会社足利銀行、株式会社千葉興業銀行、株式会社北陸銀行、株式会社静岡銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社中国銀行、株式会社沖縄銀行、株式会社北日本銀行、株式会社栃木銀行の 13 行からの出資を受け、また、平成 26 年 10 月 14 日に施行された株式会社地域経済活性化支援機構法の一部改正に伴い機構の新規業務として開始された「特定組合出資業務(ファンド出資業務)※1」により、機構からの出資も受けて本ファンド総額の上限である 100 億円に達したため、組合出資募集を完了いたします。

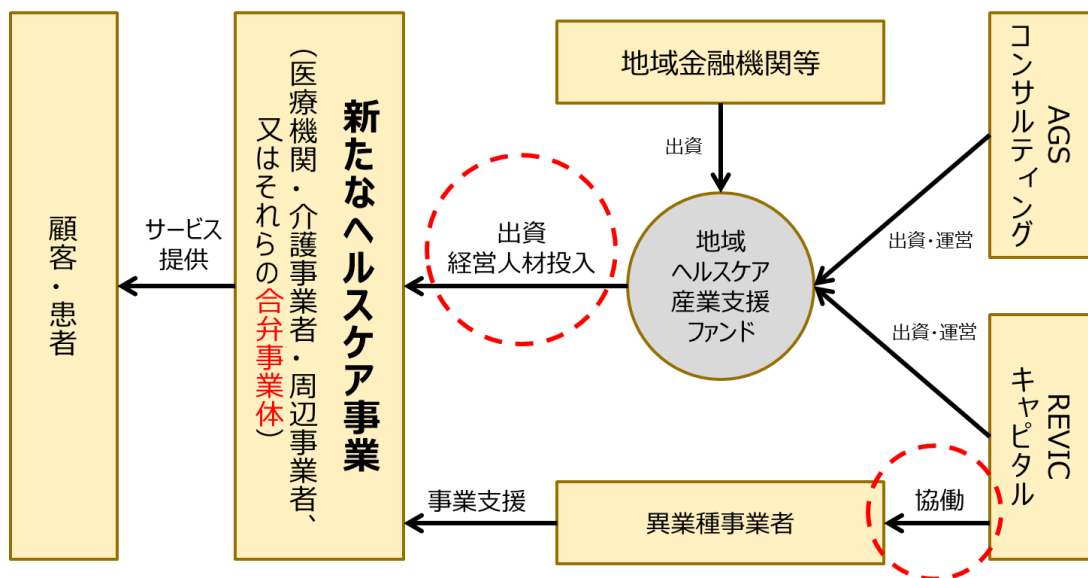
今後は、本ファンドから、事業成長に必要なリスクマネーの提供のみならず、機構が豊富に有するヘルスケア産業に精通した経営人材を投資先企業に集中投入することで、地域経済の活性化に資する新たなヘルスケア産業のモデルケースを構築したいと考えております。

※1 特定組合出資業務(ファンド出資業務):機構が事業再生・地域活性化ファンドに対し、有限責任組合員(LP)として出資を行うもの。

本ファンドの概要は以下の通りです。

名称	地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合
ファンド総額	100 億円
組合員構成	(株)みずほ銀行 (株)北海道銀行 (株)秋田銀行 (株)北都銀行 (株)東北銀行 (株)足利銀行 (株)常陽銀行 (株)千葉銀行 (株)千葉興業銀行 (株)横浜銀行 (株)北陸銀行 (株)静岡銀行 (株)紀陽銀行 (株)中国銀行 (株)福岡銀行 (株)沖縄銀行 (株)西日本シティ銀行 (株)北日本銀行 (株)栃木銀行 横浜キャピタル(株) (株)地域経済活性化支援機構 (株)AGS コンサルティング REVIC キャピタル(株)
設立日	平成 26 年9月1日
存続期間	約7年間
業務運営者	REVIC キャピタル(株)、(株)AGS コンサルティング

【本ファンドのスキーム】



地域ヘルスケア産業支援ファンドは、①経営人材投入、②出資、の2大機能を提供
又、異業種企業と協働し、イノベーションを生起する

以上

＜お問い合わせ・ご相談の連絡先＞
株式会社地域経済活性化支援機構
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 9 階
代表：TEL 03-6266-0310
地域活性化オフィス：TEL 03-6266-0380